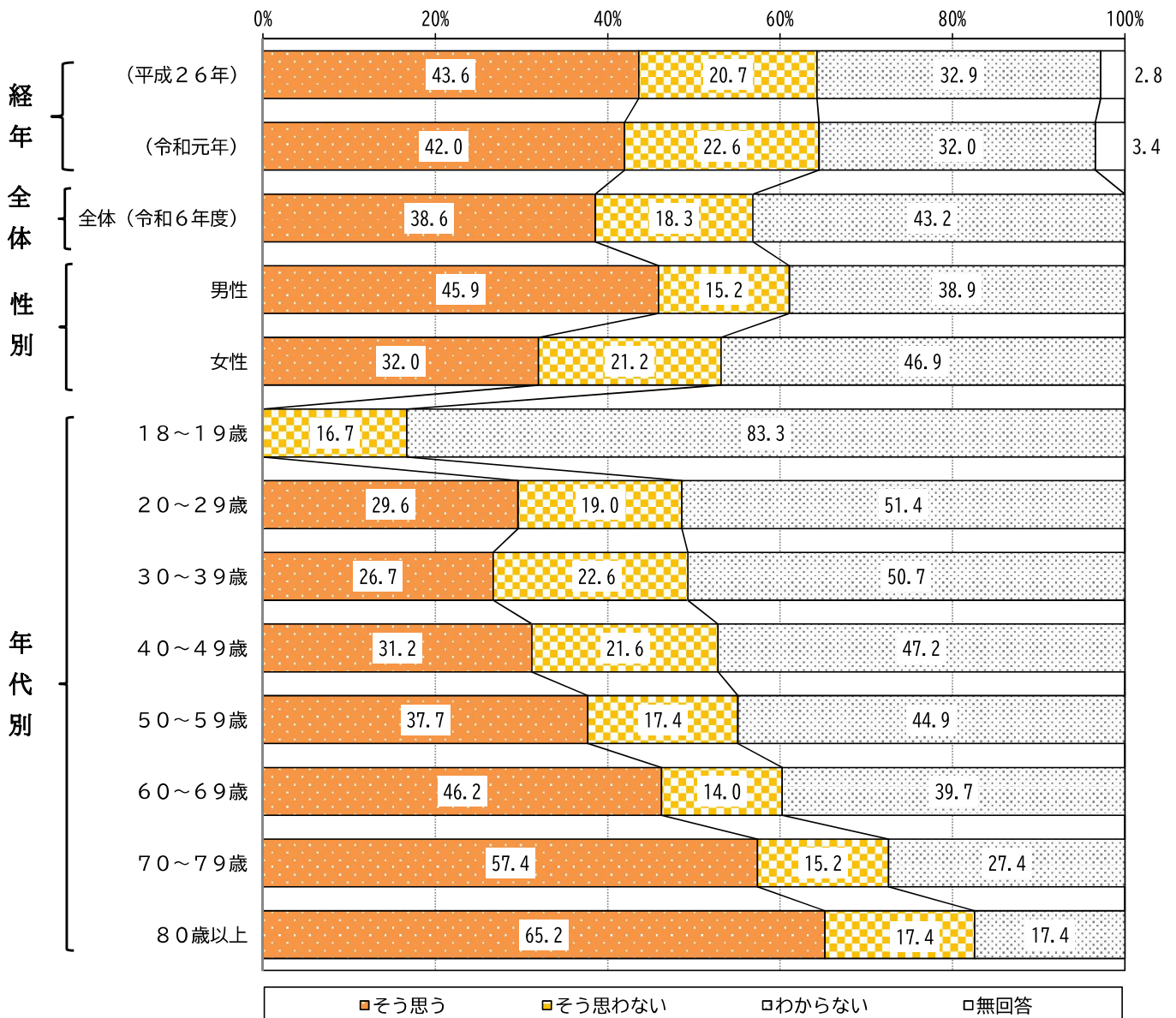


7. 女性活躍について

(1) 女性がもっとついた方がよい役職や公職（問19）

問19 あなたは、次にあげるような役職や公職に女性が「もっとついた方がよい」と思いますか。アからカの項目ごとに、次の中からそれぞれ一つ選んでください。

図表19-ア 『町内会長、自治会長』に女性がもっとついた方がよいか（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



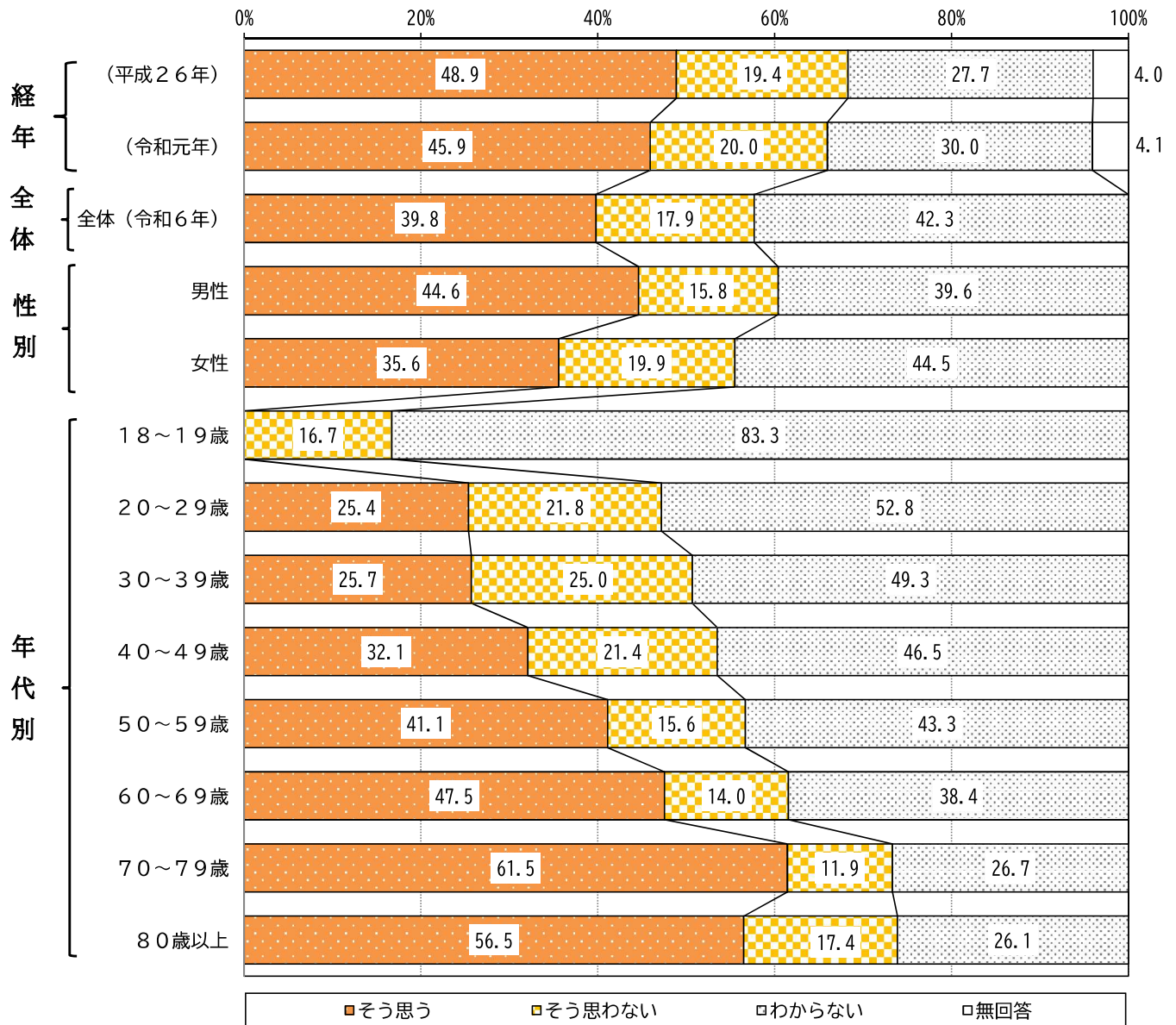
『町内会長、自治会長』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「わからない」（43.2%）と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「そう思う」（38.6%）、「そう思わない」（18.3%）となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から3.4ポイント減少し、「わからない」は11.2ポイント増加している。

性別でみると、男性は「そう思う」（45.9%）と回答した者の割合が最も高く、女性は「わからない」（46.9%）と回答した者の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、60歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が4割以上で、特に80歳以上（65.2%）が高くなっている。50歳代以下は「わからない」が4割以上で、特に18～19歳（83.3%）が高くなっている。

図表19-イ 『PTA会長』に女性がもっとついた方がよいか (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



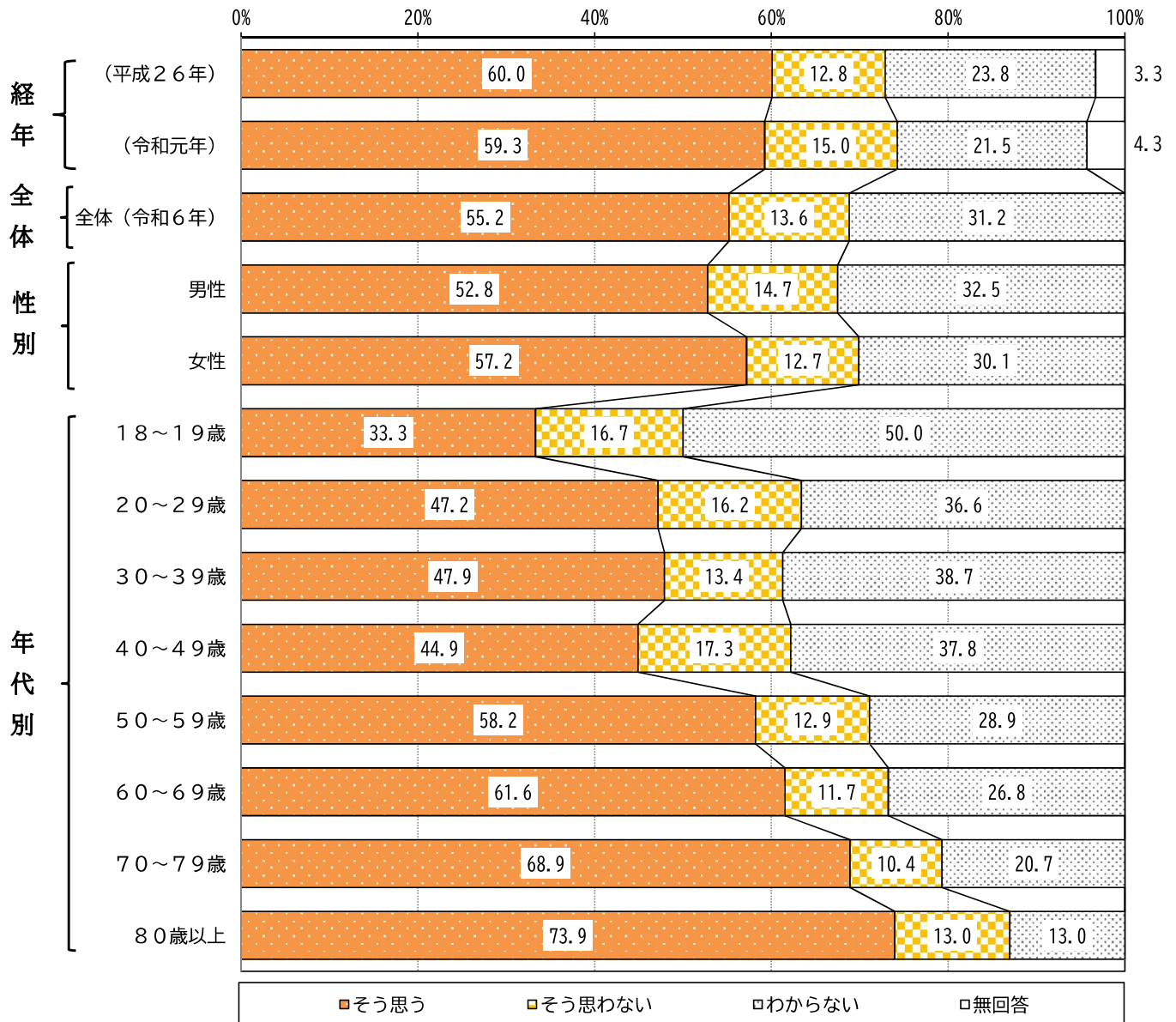
『PTA会長』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「わからない」(42.3%)と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「そう思う」(39.8%)、「そう思わない」(17.9%)となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から6.1ポイント減少し、「わからない」は12.3ポイント増加している。

性別でみると、男性は「そう思う」(44.6%)と回答した者の割合が最も高く、女性は「わからない」(44.5%)と回答した者の割合が最も高くなっている。

年代別でみると、60歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が4割以上で、特に70歳代(61.5%)は高くなっている。50歳代以下は「わからない」が4割以上となっており、特に18～19歳(83.3%)が高くなっている。

図表19-ウ 『職場の管理職』に女性がもっとついた方がよいか（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



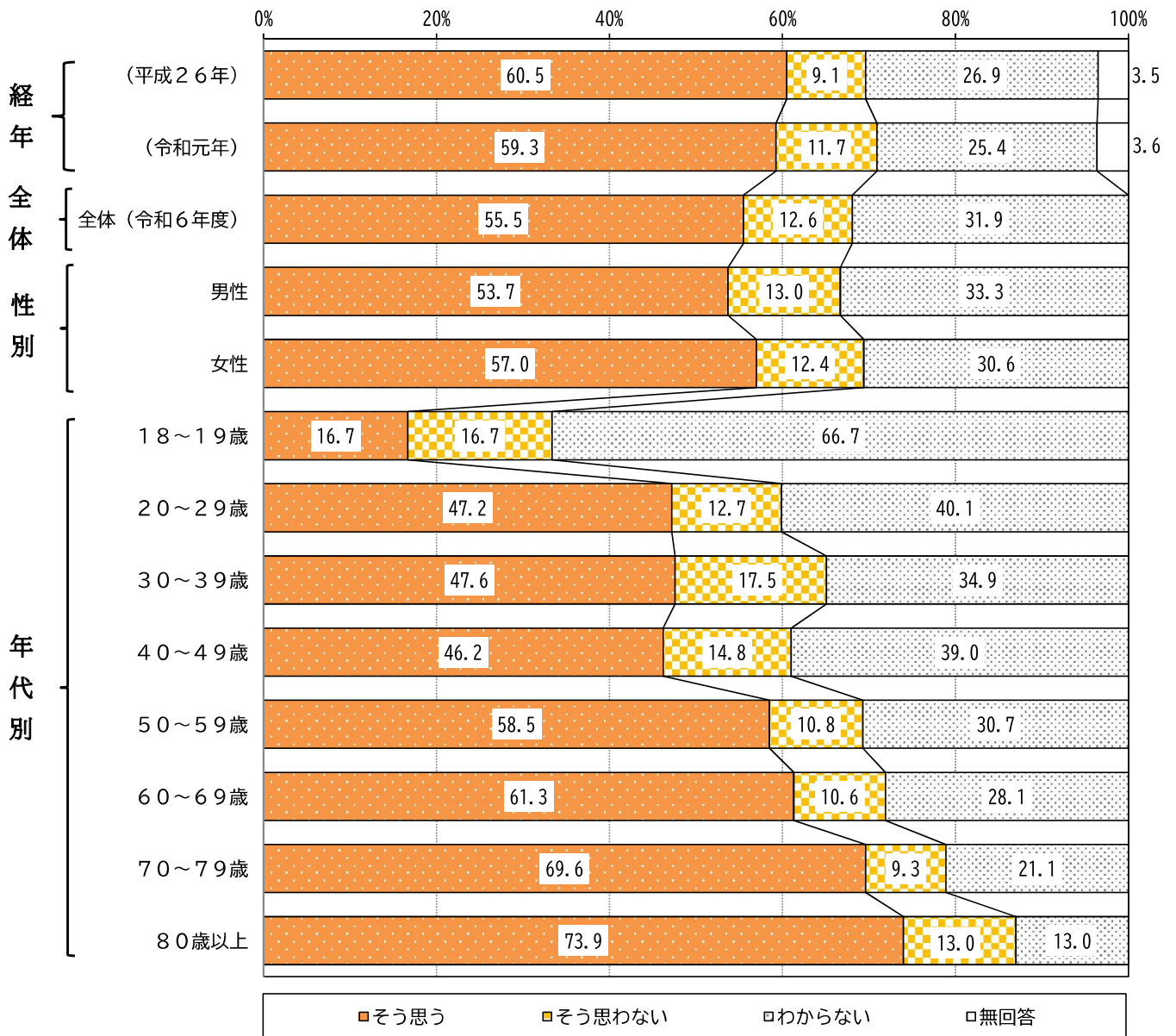
『職場の管理職』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「そう思う」(55.2%)と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「わからない」(31.2%)、「そう思わない」(13.6%)となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から4.1ポイント減少し、「わからない」は9.7ポイント増加している。

性別でみると、「そう思う」と回答した者の割合は、男性(52.8%)より女性(57.2%)の方が高くなっている。

年代別でみると、20歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が4割以上で、特に80歳以上(73.9%)は高くなっている。18～19歳は「わからない」(50.0%)が高くなっている。

図表19-E 『県や市町村の審議会委員』に女性がもっとついた方がよいか (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



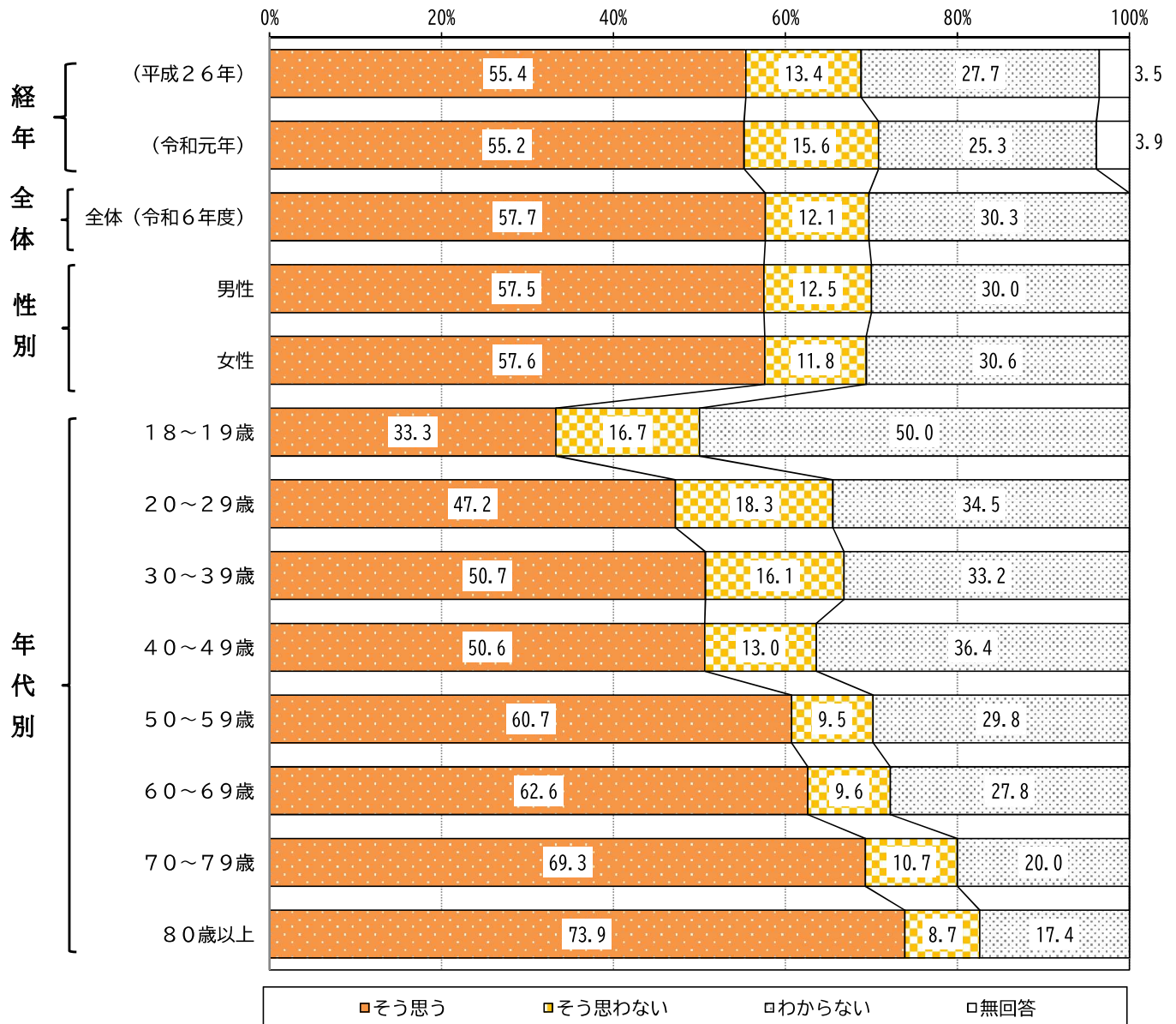
『県や市町村の審議会委員』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「そう思う」(55.5%)と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「わからない」(31.9%)、「そう思わない」(12.6%)となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から3.8ポイント減少し、「わからない」は6.5ポイント増加している。

性別でみると、「そう思う」と回答した者の割合は、男性(53.7%)より女性(57.0%)の方が高くなっている。

年代別でみると、20歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が4割以上で、特に80歳以上(73.9%)が高くなっている。18~19歳は「わからない」(66.7%)が高くなっている。

図表19-オ 『知事や市町村長』に女性がもっとついた方がよいか (N=2,000)
(経年・全体・性別・年代別)



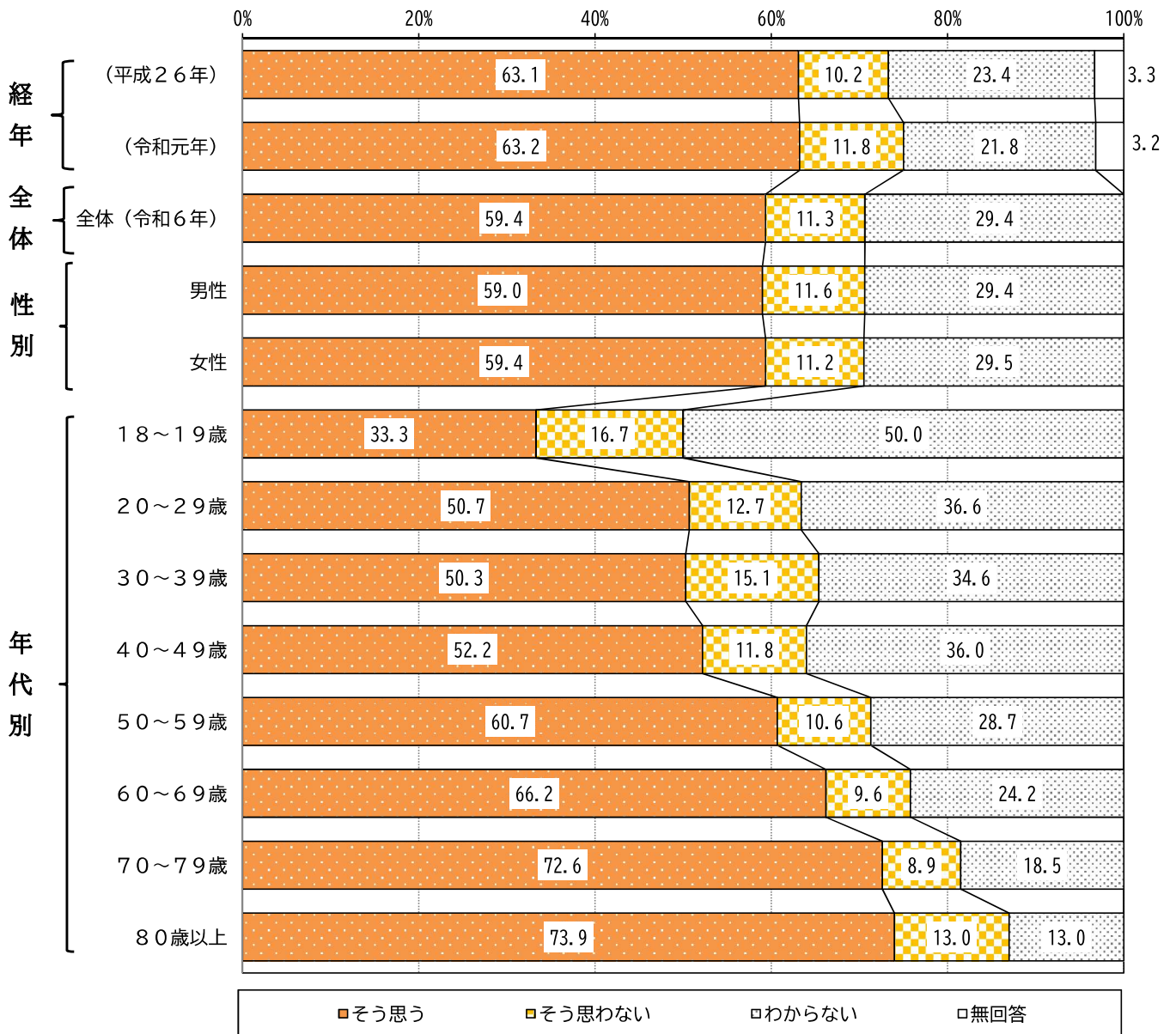
『知事や市町村長』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「そう思う」(57.7%)と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「わからない」(30.3%)、「そう思わない」(12.1%)となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から2.5ポイント増加し、「そう思わない」は3.5ポイント減少している。

性別でみると、「そう思う」と回答した者の割合は、男性(57.5%)より女性(57.6%)の方が高くなっている。

年代別でみると、20歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が4割以上で、特に80歳以上(73.9%)が高くなっている。18~19歳は「わからない」(50.0%)が高くなっている。

図表19-カ 『国、県、市町村の議会議員』に女性がもっとついた方がよいか（N=2,000）
（経年・全体・性別・年代別）



『国、県、市町村の議会議員』に女性がもっとついた方がよいかについては、全体では、「そう思う」（59.4％）と回答した者の割合が最も高くなっており、次いで、「わからない」（29.4％）、「そう思わない」（11.3％）となっている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査（令和元年）から3.8ポイント減少し、「わからない」は7.6ポイント増加している。

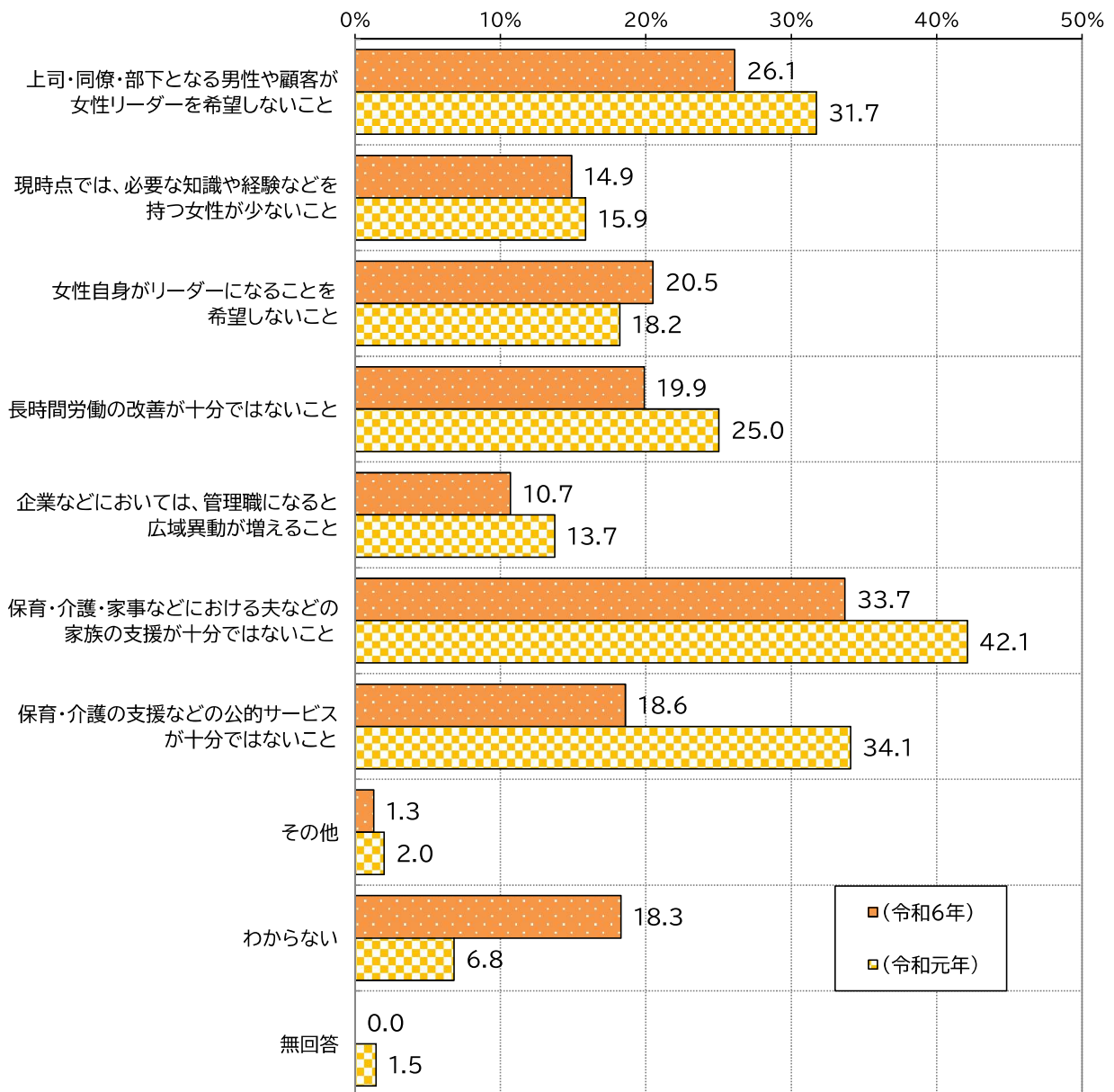
性別でみると、「そう思う」と回答した者の割合は、男性（59.0％）より女性（59.4％）の方が高くなっている。

年代別でみると、20歳代以上は「そう思う」と回答した者の割合が5割以上で、特に80歳以上（73.9％）は高くなっている。18～19歳は「わからない」（50.0％）が高くなっている。

(2) 女性のリーダーを増やすときの障がい (問 20)

問20 政治・経済・地域・家庭などの各分野で、女性のリーダーを増やすときに障がいになるものは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを二つまで選んでください。

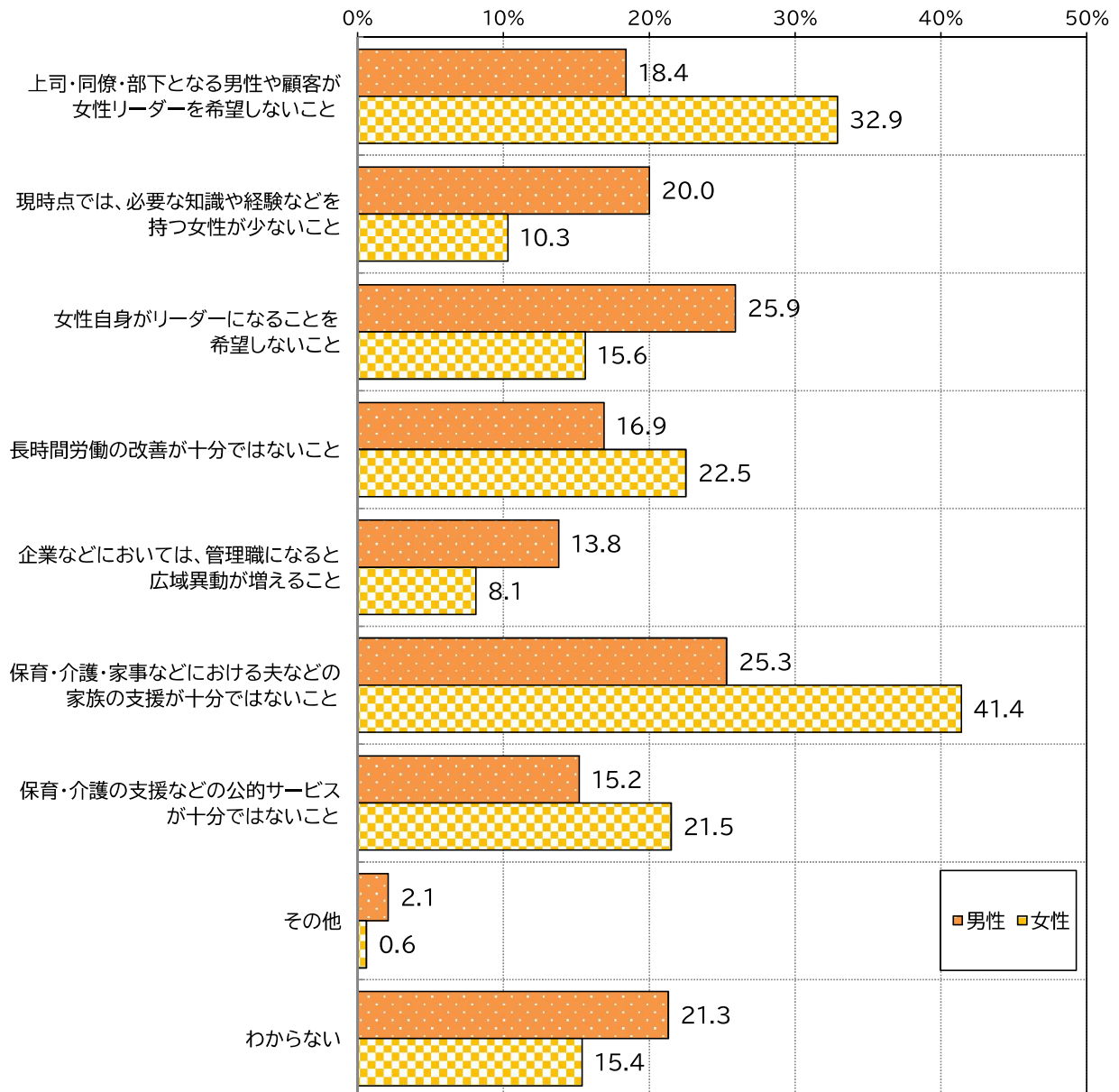
図表20-1 女性リーダーを増やすときの障がい (N=2,000) (経年)



政治・経済・地域・家庭などの各分野で女性リーダーを増やすときの障がいとなるものについては、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」(33.7%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」(26.1%)、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」(20.5%)の順になっている。

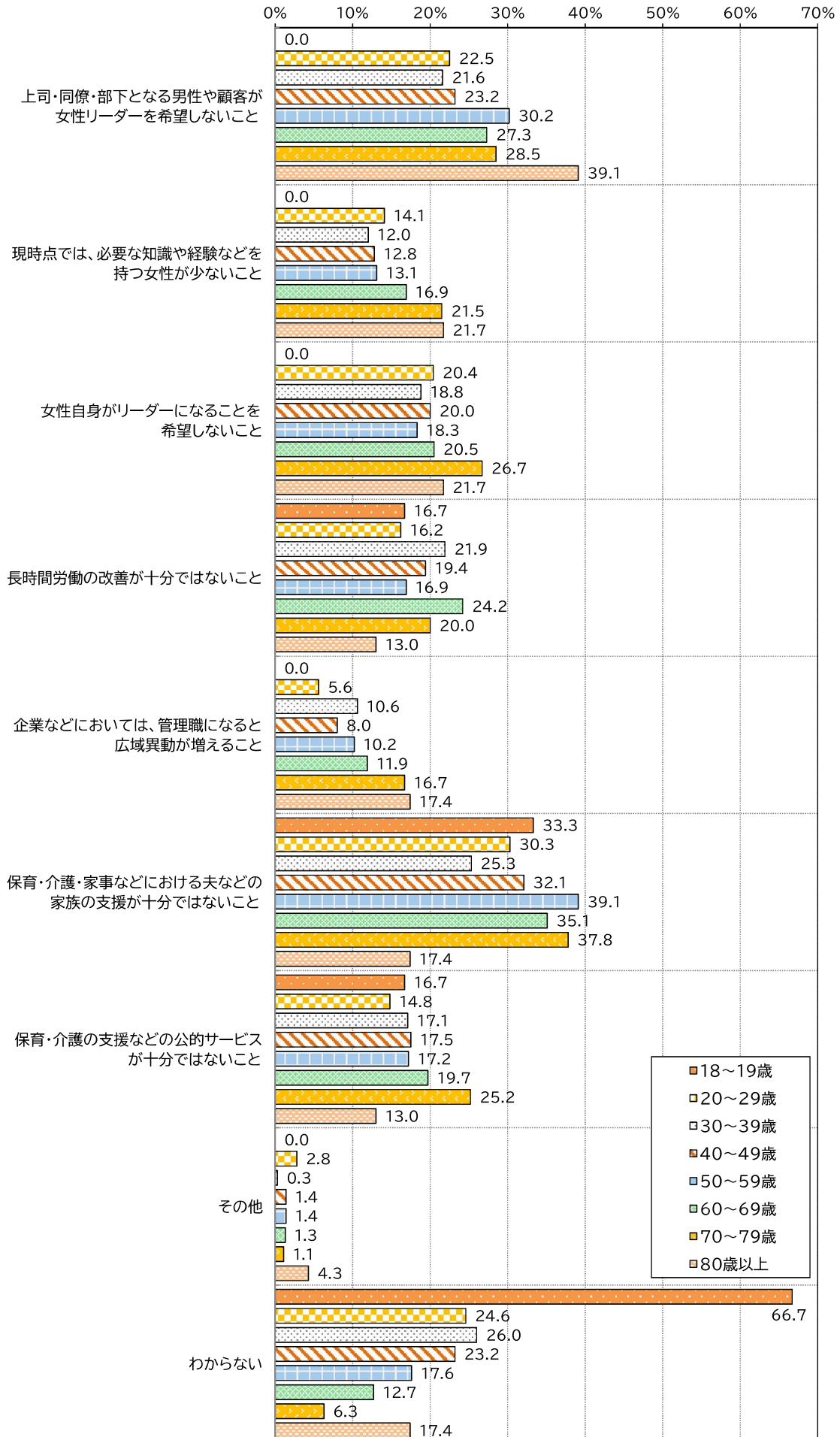
過去の調査と比較すると、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から8.4ポイント減少したものの、前回と同じで最も高くなっている。

図表20-2 女性リーダーを増やすときの障がい（性別）
(N=男性 939 女性 1,039)



性別でみると、男性は「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」（25.9%）と回答した者の割合が最も高くなっている。女性は「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」（41.4%）と回答した者の割合が最も高くなっている。

図表20-3 女性リーダーを増やすときの障がい（N=2,000）（年代別）

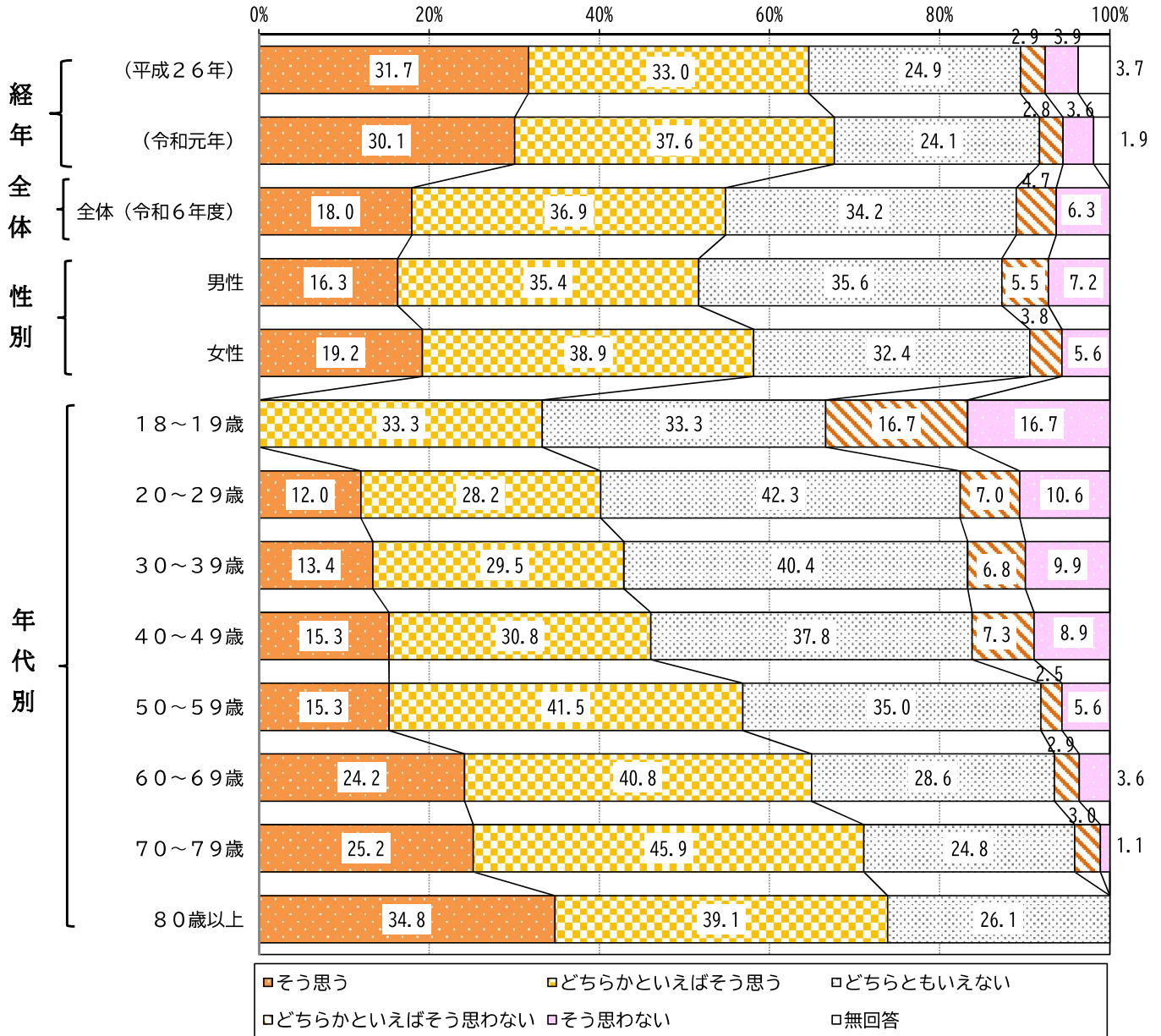


年代別でみると、20歳代と40～70歳代は「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」と回答した者の割合が最も高く、18～19歳と30歳代は「わからない」、80歳以上は「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」(39.1%)がそれぞれ最も高くなっている。

(3) ポジティブ・アクションに対する考え (問 21)

問21 「意思決定の場等における男女間の格差を改善するため、有能な女性を積極的に役職等に登用するなど、特別な措置(そち)を講じる必要がある。」という考え方(ポジティブ・アクション)がありますが、あなたはこのことについてどうお考えでしょうか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。

図表2-1 ポジティブ・アクションに対する考え (N=2,000) (経年・全体・性別・年代別)



ポジティブ・アクションに対する考えについては、全体では、「そう思う」(54.9%)と回答した者(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計(以下同じ))の割合は、「そう思わない」(11.0%)(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計(以下同じ))を上回っている。

過去の調査と比較すると、「そう思う」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から12.8ポイント減少し、「どちらともいえない」は10.1ポイント増加している。

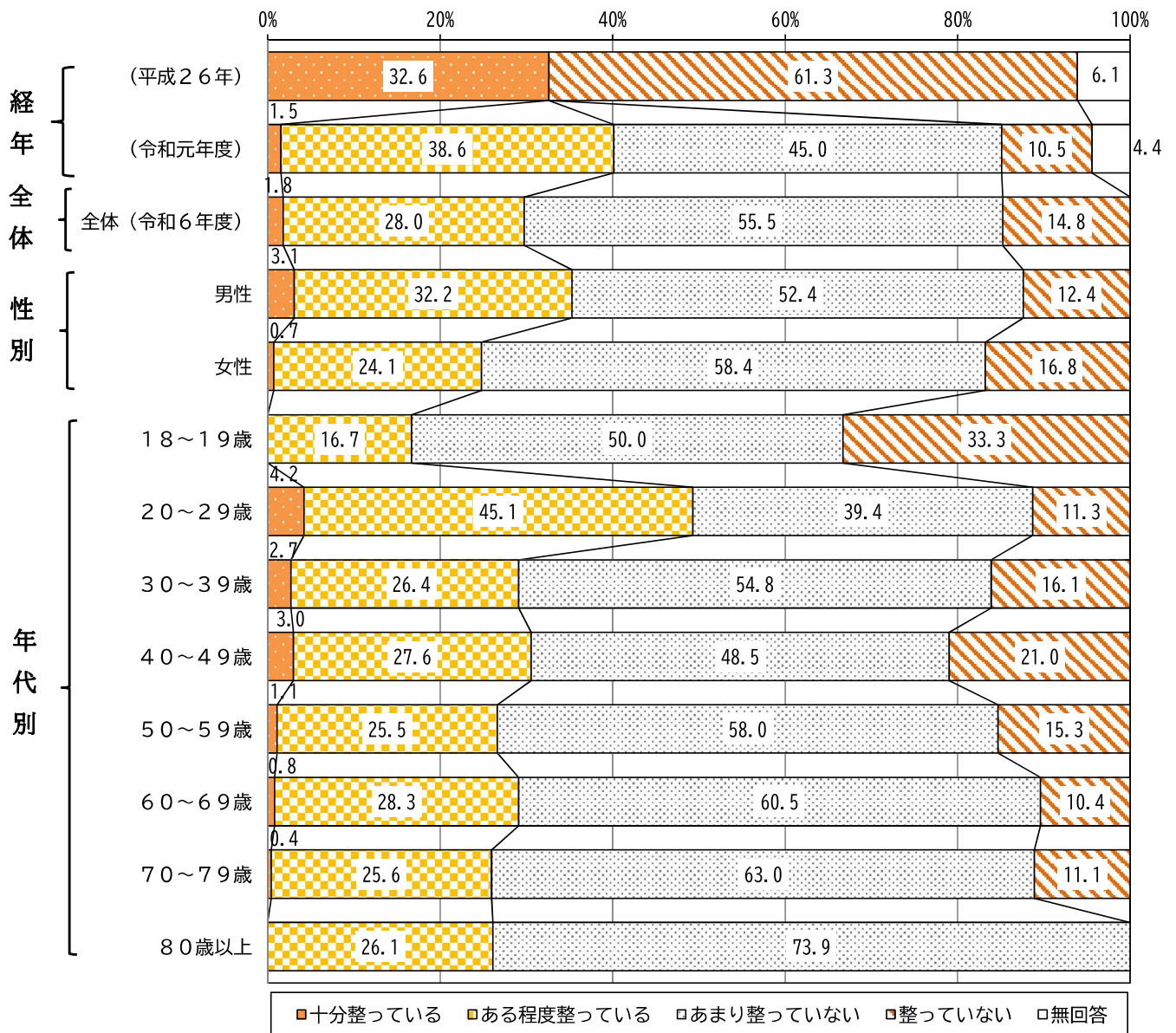
性別でみると、「そう思う」と回答した者の割合は、男性(51.7%)より女性(58.1%)の方が高くなっている。

年代別でみると、年代が上がるにつれて「そう思う」と回答した者の割合が高く、80歳以上(73.9%)は最も高くなっている。

(4) 本県における女性の労働条件 (問 22)

問22 愛媛県では、女性が職業を持ち、働き続けていくために必要な条件が整っていると思いますか。次の中から一つ選んでください。

図表 22 本県における女性の労働条件 (N=2,000) (経年・全体・性別・年代別)



本県における女性の労働条件については、全体では、「整っていない」(70.3%)と回答した者(「整っていない」と「あまり整っていない」の合計(以下同じ))の割合は、「整っている」(29.8%)(「十分整っている」と「ある程度整っている」の合計(以下同じ))を上回っている。

過去の調査と比較すると、「整っている」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から10.3ポイント減少し、「整っていない」は14.8ポイント増加している。

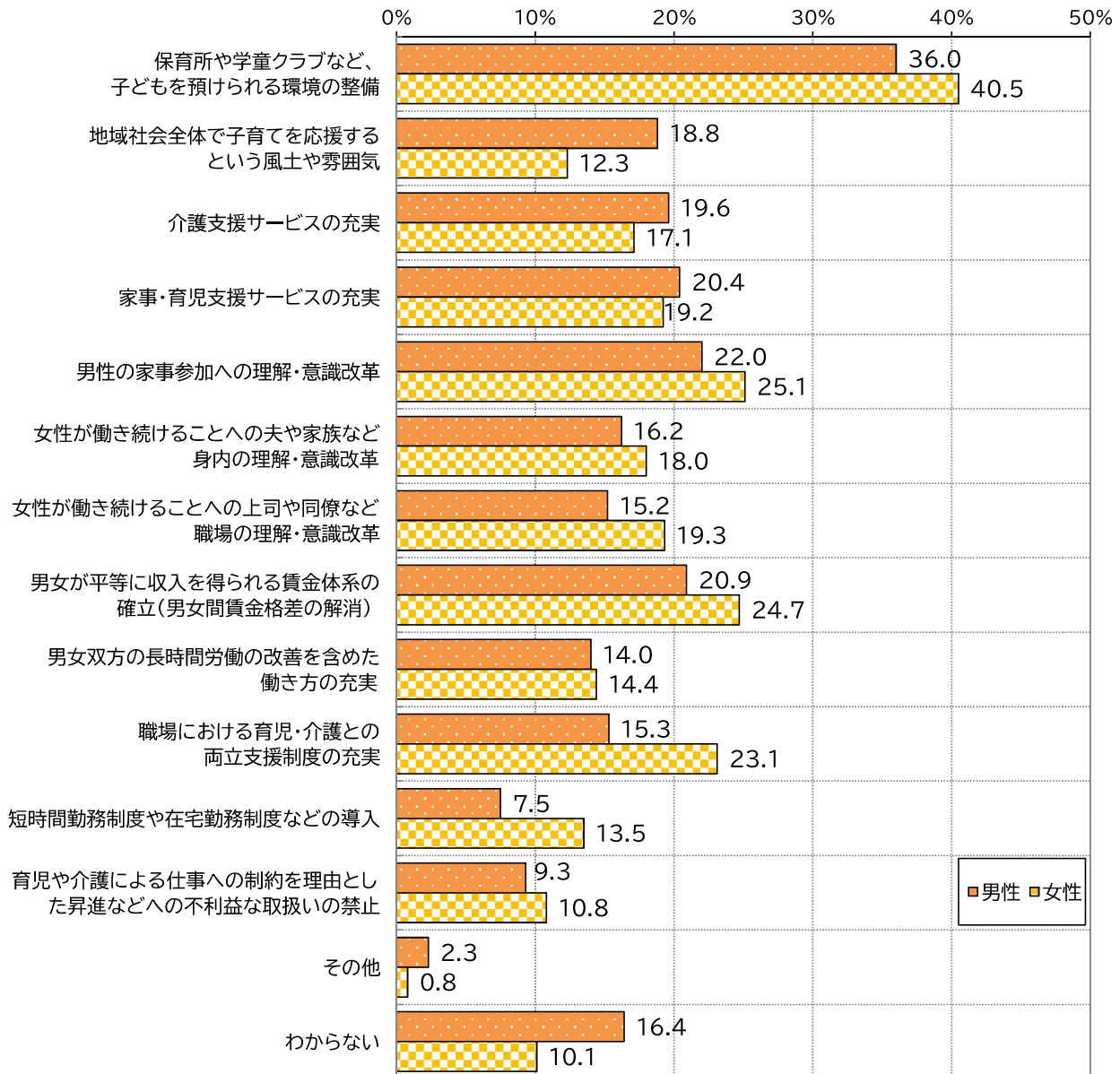
性別でみると、「整っていない」と回答した者の割合は、男性(64.8%)より女性(75.2%)の方が高くなっている。

年代別でみると、20歳代以外の年代は「整っていない」と回答した者の割合が6割以上で、特に、18～19歳(83.3%)は高くなっている。20歳代は「整っている」(49.3%)が半数近くとなっている。

(5) 女性が出産後、働き続けていくために家庭・社会・職場において必要なこと (問23)

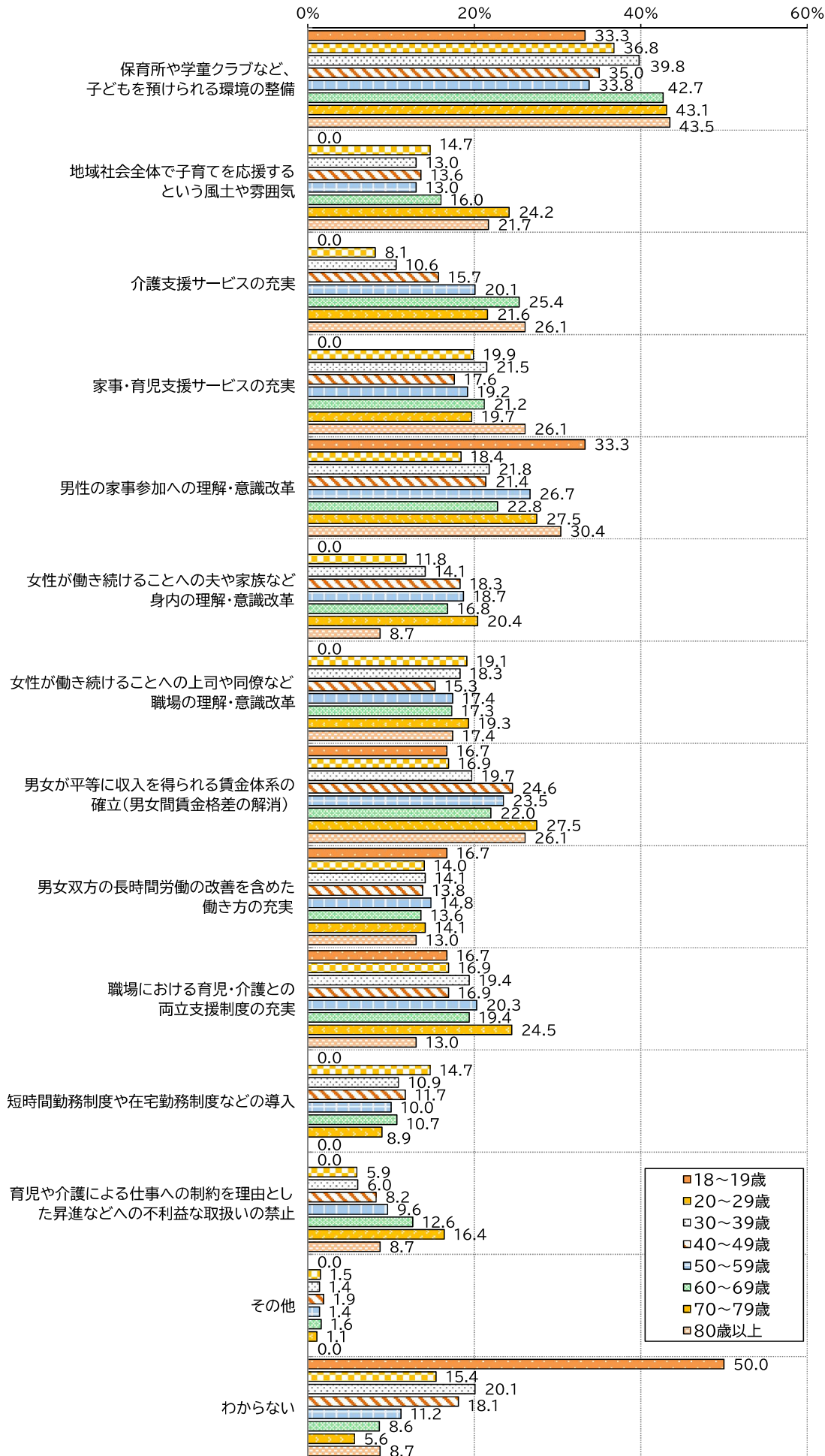
※ 問22のうち、「2 ある程度整っている」「3 あまり整っていない」「4 整っていない」とお答えになった方は、問23へお進みください。それ以外の方は問24へお進みください。
問23 女性が職業を持ち、働き続けていくために、家庭・社会・職場において現在不足しているものは何だと思いませんか。次の中から三つまで選んでください。

図表23-1 女性が出産後、働き続けていくために家庭・社会・職場において必要なこと
(性別) (N=男性 910 女性 1,032)



女性が出産後、働き続けていくために家庭・社会・職場において必要なことについては、性別で見ると、男性・女性ともに回答した者の割合は上位3項目が同じで、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」(男性 36.0%、女性 40.5%)、「男性の家事参加への理解・意識改革」(男性 22.0%、女性 25.1%)、「男女が平等に収入を得られる賃金体系の確立(男女内賃金格差の解消)」(男性 20.9%、女性 24.7%)の順になっている。

図表23-2 女性が出産後、働き続けていくために家庭・社会・職場において必要なこと
(N=1,964) (年代別)

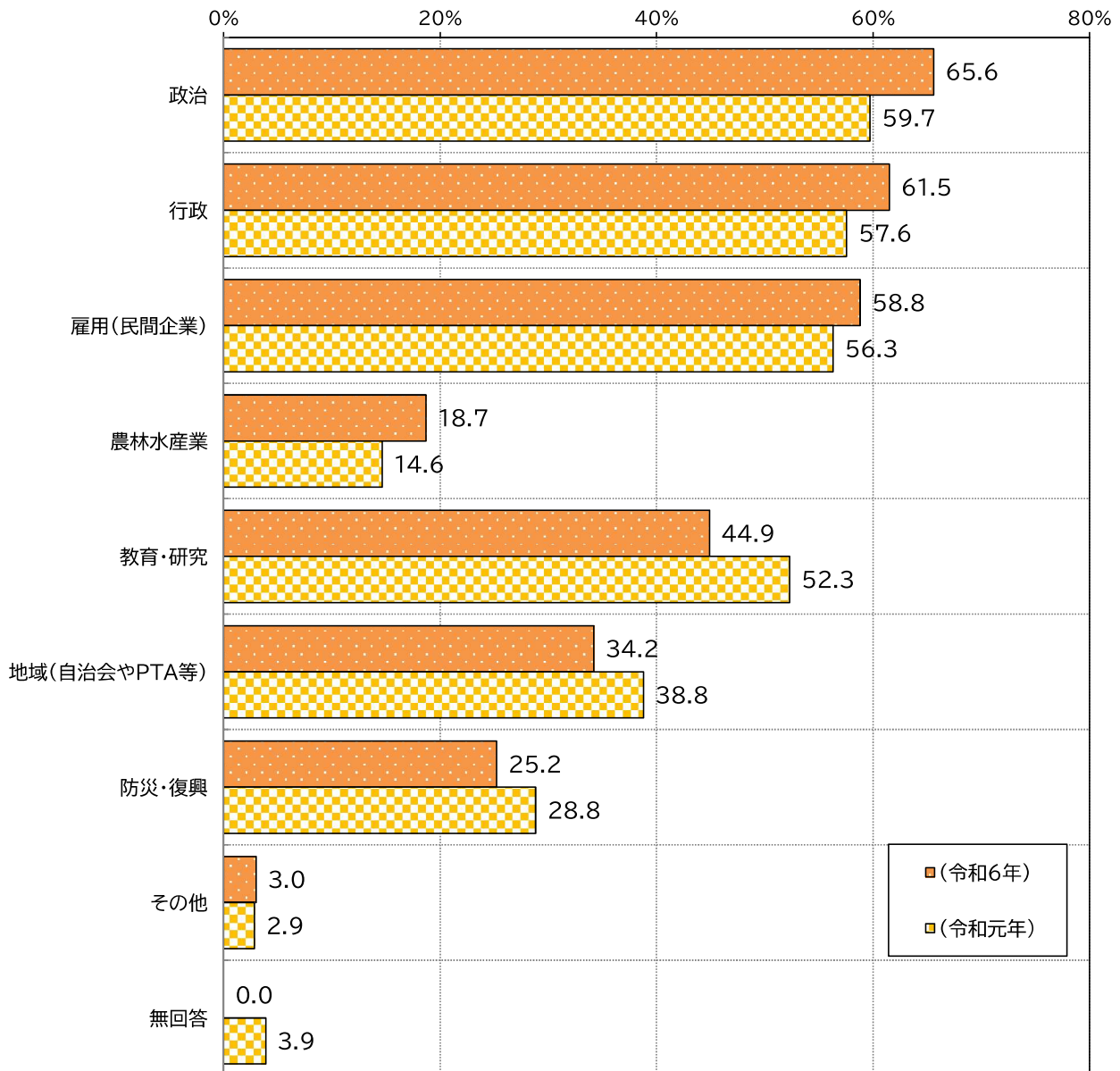


年代別でみると18～19歳以外の年代は、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」と回答した者の割合が最も高く、特に80歳以上（43.5%）が高くなっている。18～19歳は「わからない」（50.0%）が最も高くなっている。

(6) 今後、女性の活躍が重要となる分野（問 24）

問24 今後、どの分野での女性活躍が重要だと感じますか。当てはまるものすべて選んでください。

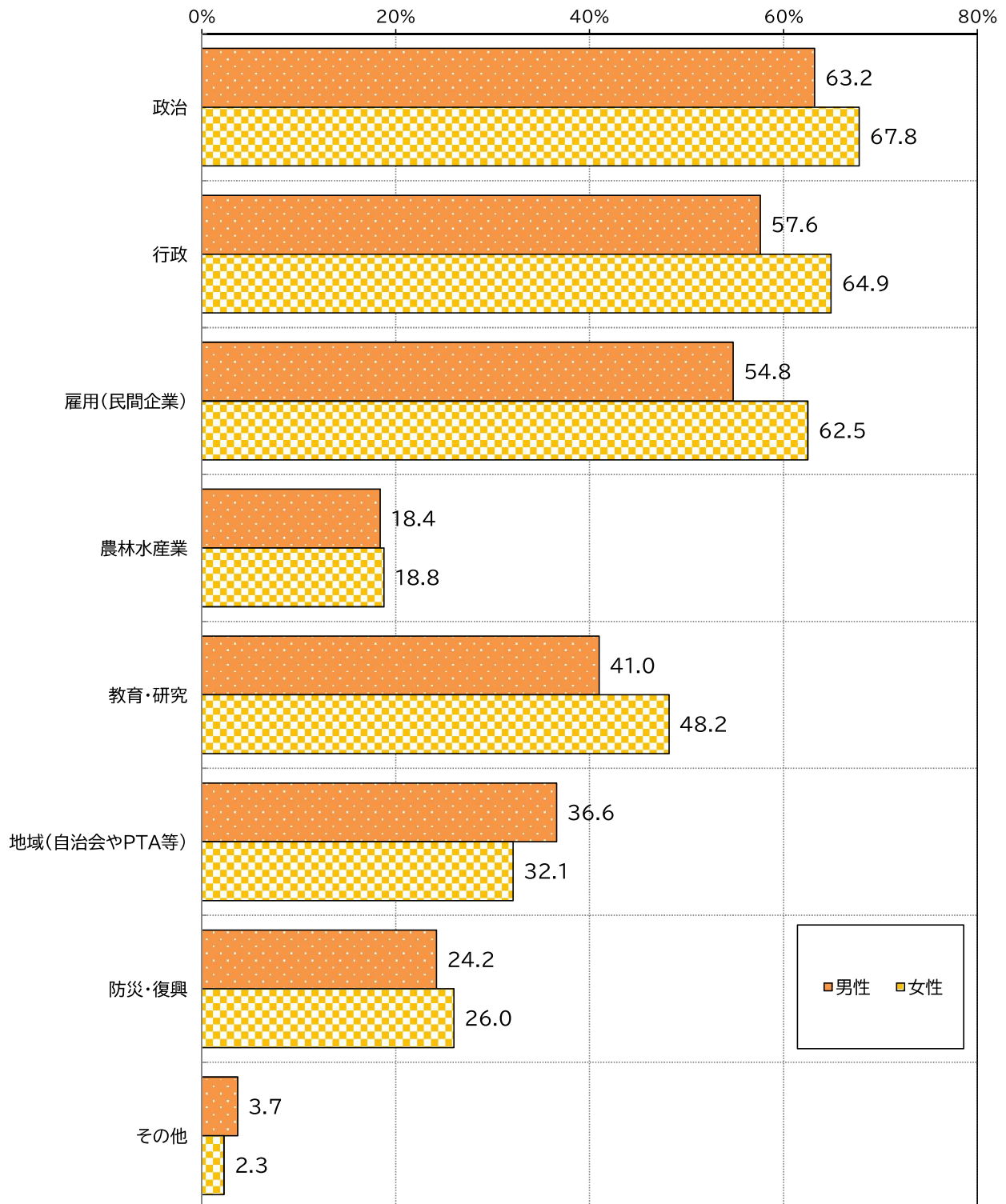
図表 24-1 今後、女性の活躍が重要となる分野（N=2,000）（経年）



今後、女性の活躍が重要となる分野については、「政治」(65.6%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「行政」(61.5%)、「雇用」(58.8%)の順になっている。

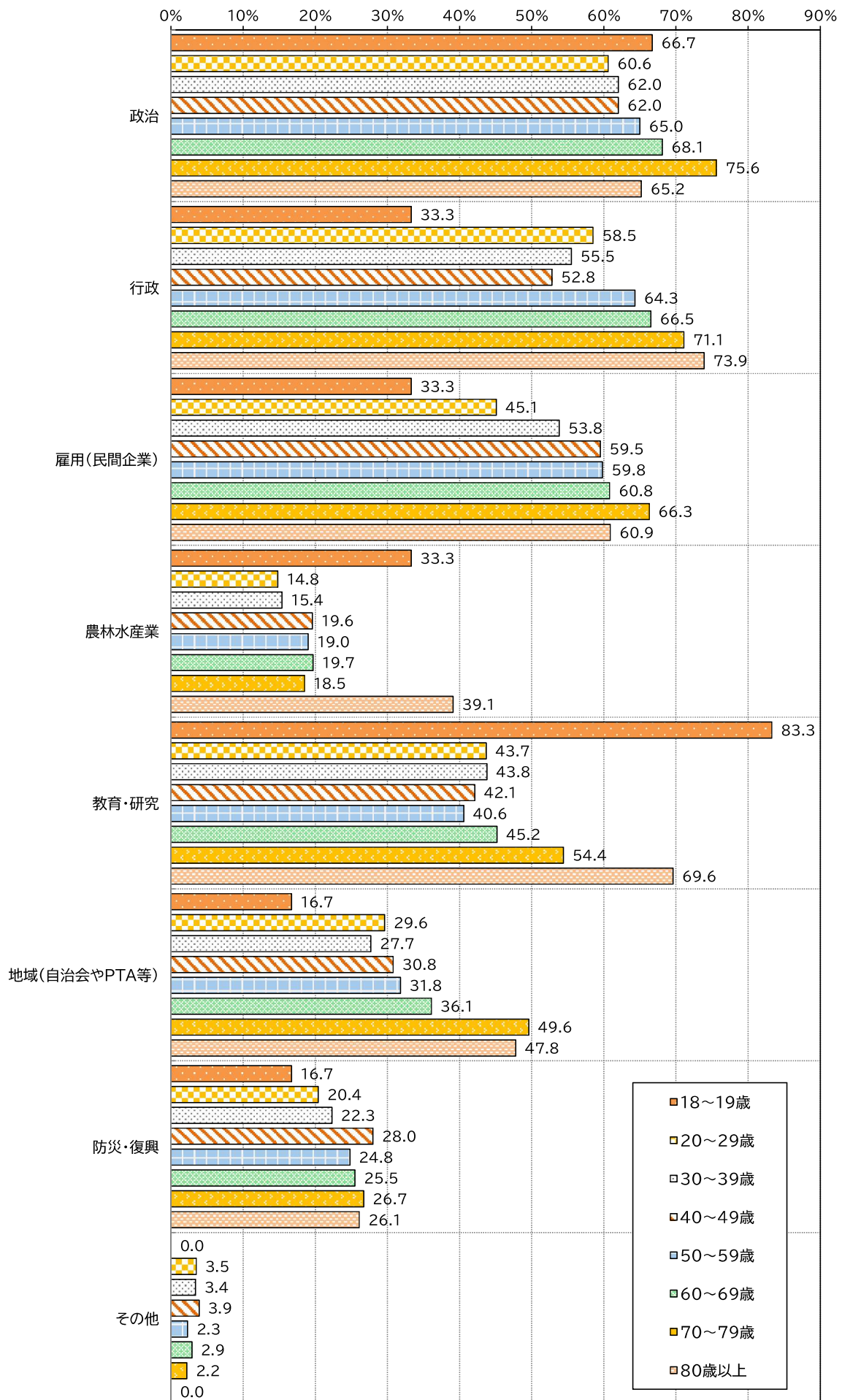
過去の調査と比較すると、「政治」と回答した者の割合は、前回調査(令和元年)から5.9ポイント増加し、前回と同じで最も高くなっている。

図表24-2 今後、女性の活躍が重要となる分野（性別）
(N=男性 939 女性 1,039)



性別でみると、男性・女性ともに回答した者の割合は上位3項目が同じで、いずれも男性より女性の方が上回っており、「政治」（男性 63.2%、女性 67.8%）、「行政」（男性 57.6%、女性 64.9%）、「雇用」（男性 54.8%、女性 62.5%）の順になっている。

図表24-3 今後、女性の活躍が重要となる分野（N=2,000）（年代別）

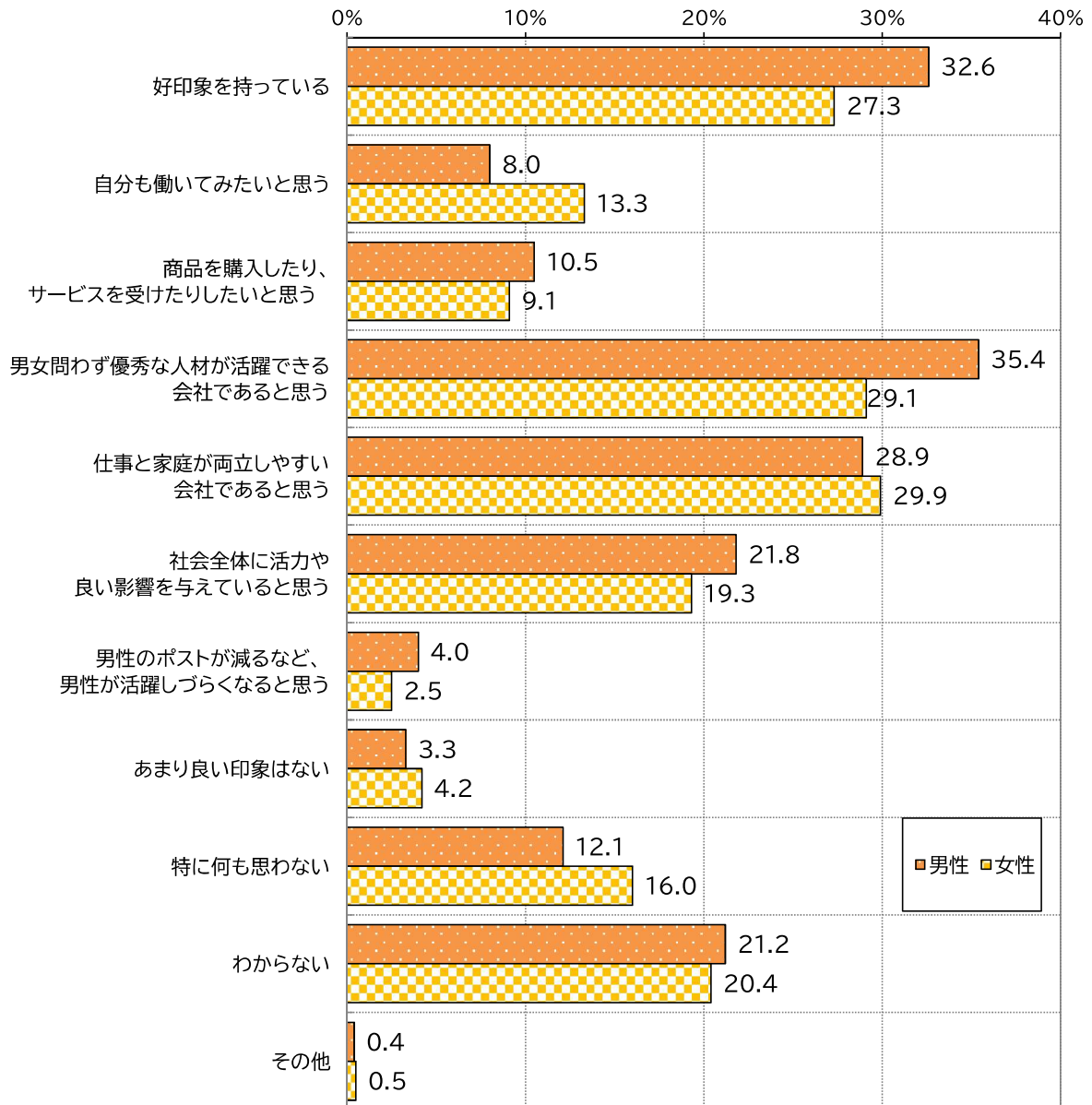


年代別でみると、20～70 歳代は「政治」と回答した者の割合が6割以上と最も高く、特に 70 歳代(75.6%)が高くなっている。18～19 歳は「教育・研究」(83.3%)、80 歳以上は「行政」(73.9%)がそれぞれ最も高くなっている。

(7) 女性活躍の推進や仕事と家庭生活の両立支援などに取り組む企業等に対するイメージ（問25）

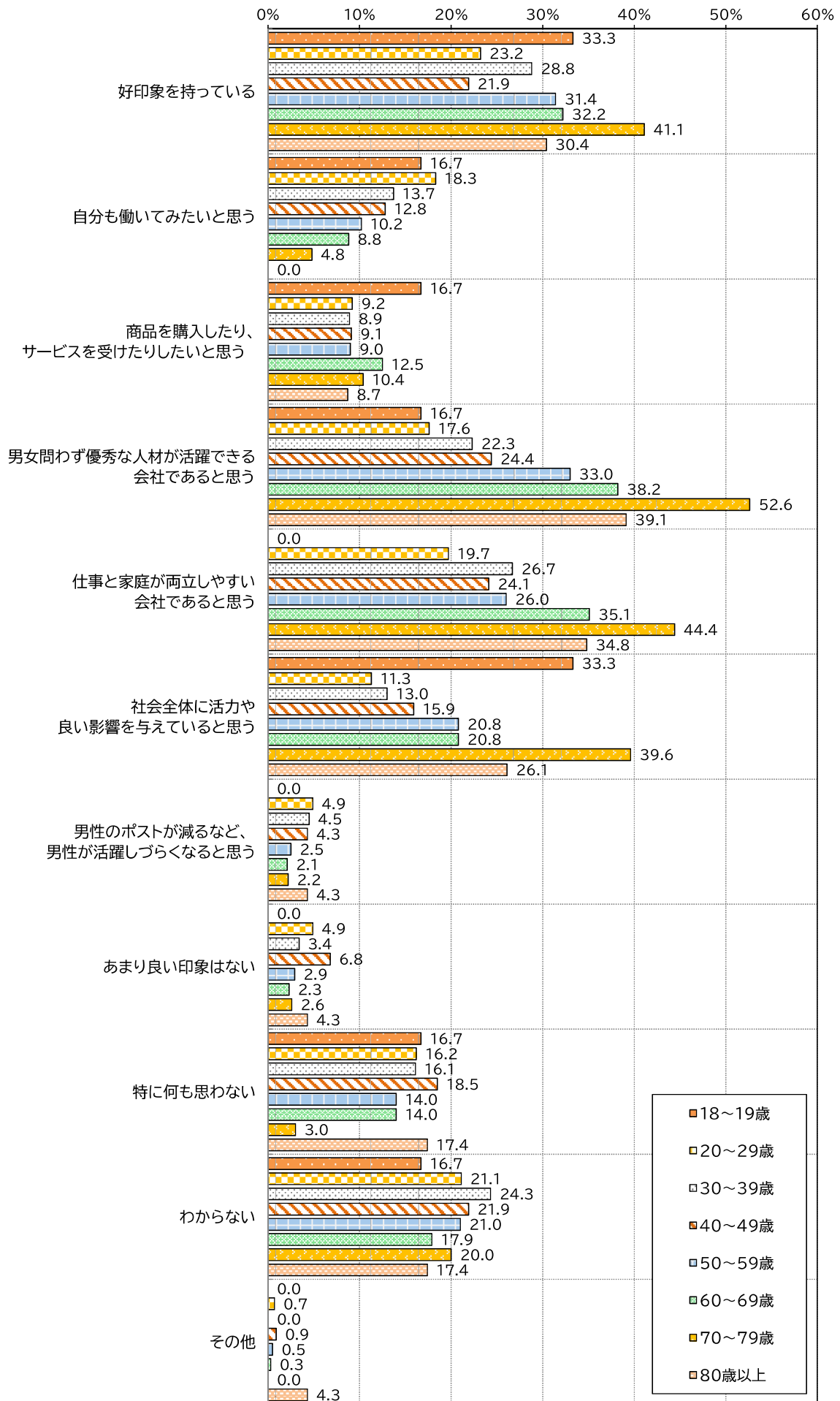
問25 愛媛県では、女性活躍及び仕事と家庭生活の両立支援に取り組む企業・事業所を「ひめボス宣言事業所」として認証し、県内に、性別を問わず誰もがいきいきと活躍できる魅力的な職場が増えるよう、企業等の取組みを後押ししています。あなたは、女性活躍の推進や仕事と家庭生活の両立支援などに取り組む企業等について、どのようなイメージをお持ちですか。次の中から三つまで選んでください。

図表25-1 女性活躍の推進や仕事と家庭生活の両立支援などに取り組む企業等に対するイメージ（性別）（N=男性 939 女性 1,039）



女性活躍の推進や仕事と家庭の両立支援などに取り組む企業等に対するイメージについては、性別で見ると、男性は「男女問わず優秀な人材が活躍できる会社であると思う」（35.4%）と回答した者の割合が最も高く、次いで、「好印象を持っている」（32.6%）となっており、女性は「仕事と家庭が両立しやすい会社であると思う」（29.9%）と回答した者の割合が最も高く、次いで、「男女問わず優秀な人材が活躍できる会社であると思う」（29.1%）となっている。

図表25-2 女性活躍の推進や仕事と家庭生活の両立支援などに取り組む企業等に対するイメージ
(N=2,000) (年代別)



年代別でみると、20～30 歳代は「好印象を持っている」と回答した者の割合が最も高く、18～19 歳は「好印象を持っている」「社会全体に活力や良い影響を与えていると思う」(同率で 33.3%)、40 歳代以上は「男女問わず優秀な人材が活躍できる会社であると思う」がそれぞれ最も高くなっている。